

浪華本染め(注染)は国の
伝統的工芸品です

浪華本染め展

経済産業大臣指定伝統的工芸品



4/23(金) - 30(金)

展示・実演共に平日のみとなります

9:00 - 17:00

23日(金)は13:00から

26日(月) - 30日(金) 注染実演

10:00/11:30/13:30/15:00

会場

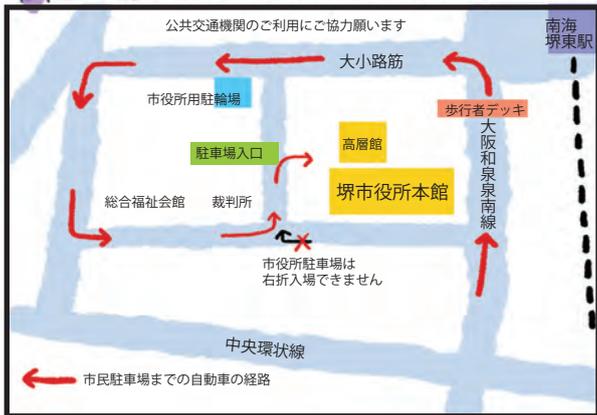
堺市役所本館1階エントランスホール



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントは中止・延期となる場合があります



会場はコチラ
ACCESS



堺市役所本館1階エントランスホール

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
電話：072-233-1101（代表）

電車・バスをご利用の場合

- 南海電鉄高野線
「堺東駅」下車、西出口からバスロータリーの方向に約200メートル
- 南海電鉄南海線
「堺駅」より南海シャトルバス（堺東駅前行き）約10分
「堺市役所前」下車すぐ



「協同組合オリセン」は明治30年代に「多工」ぞ名高い石田金四郎が中心になって、昭和22年に創設した組合です。大阪生まれの「浪華本染め」の技術・技法を受け継いでいます。

協同組合オリセン

大阪市中央区久太郎町1-8-15
電話 06-6261-0468
<https://www.osaka-orisen.com>
浪華本染めの商品をお買い物できる『おりせんSHOP』も併設しております



本展では浪華本染め（注染）の魅力を充分楽しんでいただける浴衣、職人技が光る日傘、染め難度の高い手拭いや歌舞伎や浮世絵手拭い、武蔵野美術大学の教授でもあるアーティスト高橋理子さんの創作手拭いを展示します。また、浪華本染めの歴史を感じる大正時代〜昭和の型紙や実際に使っている道具もご覧いただけます。染めの実演や、アンケートにご記入いただくと粗品のプレゼント（※）もありますのでどうぞこの機会をお見逃しなくコロナ対策を万全にして皆様のお越しをお待ちしております。 ※1日限定100名様まで

『浪華本染め（注染）』は明治二十年ごろに大阪で開発された日本固有の染色法です。職人の匠の技術による鮮やかな彩りと自然なぼかしが特徴で、手染ならではの奥行きと風合いが醸し出されています。防染糊を生地に置く職人を板場と呼び、染色する職人を壺人（つぼんど）と呼び、ともに十年以上の熟練が必要です。

「浪華本染め」は令和元年11月20日に経済産業大臣指定の伝統的工芸品(国の伝統的工芸品)に指定されました。

経済産業大臣指定伝統的工芸品
浪華本染め展

